

ソフト界「伝説の名将」宇津木妙子さんが竜ナインを熱血指導



★2月25日の北
谷球場
晴れ、気温24度、
観衆400人

3秒に2球打つ
石橋手前(左)にノックする宇津木妙子(右)
元女子日本代表監督(左)=北谷球場で(中嶋大撮影)

横にいた僕は、ノックの鬼にスイッチが入る。スタッフに「手袋とノック持ってきて」。それでも僕慢できずに横に手袋とノック持ってきて。宇津木妙子さん。ソフトボールに手袋とノック持ってきて。元女子日本代表監督(左)=北谷球場で(中嶋大撮影)

が手に取るよつにわかつた。見学では飽き足らずに「もうと前へ!」。それでも僕慢できずに横に手袋とノック持ってきて。宇津木妙子さん。ソフトボール界のカリスマには、ずいぶん優しくなりました。「若い子を見る前は厳しきて、ソフトボールの練習を見てられると鍛えたくなる」と笑う。元女子日本代表監督(左)=北谷球場で(中嶋大撮影)

左手で箸の教え
シニアアドバイザーの高峰が、北谷球場に隣接するソフトボール場で手書きを持つピックカメラで撮影した。伝説の名将にずっと聞きたいことがあります。それに練習でも右で100本振ったら、左手で200本振れと。それは宇津木さんの教えだという。上野由岐子は右投手なのに左手で箸を持つ。それが宇津木さんの教えだという。

飛び入り参戻!!

毎周平ら泥まみれ20分



石橋「偉大な方に…うれしかった」

泥まみれになった高橋、「ダンゴムシがいました。そのせいです」と主張。場を盛り上げ、宇津木をしてノックを受けさせていた。楽しそうになりました。オープン戦が続いたので、頑張ってやりたいです」とコメント。イヤギュラーで捕球し損ねる話をする(左から)宇津木元監督、井領、高橋、石橋(いずれも中嶋大撮影)

▶



春季キャンプも最終盤。思い返せば、新人選手の入寮からはや力半月がたった。あつと言ふ間に、またような気もするが、久しぶりに会ったドラフト6位の竹内の姿に時間の長さを感じた。Tシャツ姿でもはつきり分かる上、自分のマッチョ感。聞いてみると「名古屋に来た時から体重は2kgくらい増えました」と、体重が落ちがちなキャンプ期間にもしつかりと増量に成功していた。

ドラ番記者

ドラ動画はコチラ



レイアウト☆ 野口 泰一

もちろん成長しているのは体だけではない。1月に始まった新人合同トレーニングでは、2人1組になって投げたボールを打つて返すすべッパーに悪戦苦闘。高校時代は投手組に打球練習がなかつたので、慣れていないなかつたのだから。「毎日あるので体が対応してしまった」と、この日の練習ではしっかりとランバウンドで打ち返しました。高校時代に球速が30km以上アップした伸びる十分の右腕。まだ成長が楽しみだ。

僕の記憶が正確に記憶が正しければ、宇津木さんが中日の選手を鍛えるのは14年ぶりだ。2006年に当時ブルーキーの新井が受けた。何と2時間半! 泥だらけになり、必死に食らい付いたあの日から、宇津木さんの教え子になつた。「良太、良太」とかいがり、今回も中日より前に阪神のオープン戦を訪れている。グラウンドに立つだけで空気が引き締まる。それでいて厳しさが絆を生む。勝負の世界のリーダーとはかくあるべし…。

06年は2時間半

僕の記憶が正確に記憶が正しければ、宇津木さんが中日の選手を鍛えるのは14年ぶりだ。2006年に当時ブルーキーの新井が受けた。何と2時間半! 泥だらけになり、必死に食らい付いたあの日から、宇津木さんの教え子になつた。「良太、良太」とかいがり、今回も中日より前に阪神のオープン戦を訪れている。グラウンドに立つだけで空気が引き締まる。それでいて厳しさが絆を生む。勝負の世界のリーダーとはかくあるべし…。

左手を使うことで右脳を活性化する。想像力が豊かになり、ここ一番でプレーの選択肢が増えるのだ。あまたいる教え子の中では、「それを一番わかっていたのが上野。あの子は時間をかけてゆっくり食べるから」。勝負の神は細部に宿る。

「そう。上野だけじゃなく(前身の)日立のころからね。箸を使う細かい作業は神経にもいい。それに練習でも右で100本振ったら、左手では倍の200本振れと。それが宇津木さんの教えだという。上野由岐子は右投手なのに左手で箸を持つ。それは宇津木さんの教えだという。シニアアドバイザーの高峰が、北谷球場に隣接するソフトボール場で手書きを持つピックカメラで撮影した。伝説の名将にずっと聞きたいことがあります。それに練習でも右で100本振ったら、左手では倍の200本振れと。それが宇津木さんの教えだという。上野由岐子は右投手なのに左手で箸を持つ。それは宇津木さんの教えだという。シニアアドバイザーの高峰が、北谷球場に隣接するソフトボール場で手書きを持つピックカメラで撮影した。伝説の名将にずっと聞きたいことがあります。それに練習でも右で100本振ったら、左手では倍の200本振れと。それが宇津木さんの教えだという。上野由岐子は右投手なのに左手で箸を持つ。それは宇津木さんの教えだとい